

左近山中だより

令和6年 1月23日
横浜市立左近山中学校
校長 神林 康之
No.10



「Red go! ～最高に楽しいスキー教室～」によせて

副校長 馬越 秀夫

新しい年が明け、令和6年1月14日(日)から16日(火)の2泊3日で、長野県白樺湖へスキー教室に行ってきました。スキー教室実行委員会が「Red go! ～最高に楽しいスキー教室～」というスローガンを掲げ、「どうすれば『最高に楽しいスキー教室』が実現できるか?」を考えました。

私も実現に向けて、マンダラチャート(目標設定シート)を作り、8つのことを意識すると共に、1学年のみなさんにも具体的な手立てを考えてもらうよう投げかけました。



無事に帰ってくる	仲間への思いやりを持つ	自ら動く
感謝の気持ち	最高に楽しいスキー教室	ゲレンデのマナーを守る
生活のきまりを守る	健康管理に注意する	共有体験



さて、今回のスキー教室では喜びと驚きがありました。一番の喜びは、何といっても「全員無事に横浜に帰って来られたこと」です。しかし、それだけではなく、ほぼ、奇跡といえる驚きが起きました。私自身、これまでに9回ほど自然教室に行っていますが、怪我や発熱等で、病院で診察を受けた人が一人もいなかったのは初めてでした。これは、生徒の

みなさんが自分自身の健康管理に注意して、保護者のみなさまがご協力してくださった賜物です。しっかり準備されたことに敬意を示すと共に心から感謝いたします。

また、『「スキー講習(ソリ講習)」、「食事」、「学年レク」や「さりげない会話」の中で、様々な体験を共にする場面がたくさんありました。体験の中で、

「うれしいね」「たのしいね」「おいしいね」「あったかいね」といった気持ちを共有する体験ができたこと、これも喜びの一つでした。

「スキー教室の奇跡」を目のあたりにして、目標の達成(物事の成功)には、日頃から、準備を積み重ねていくことが重要だと、改めて感じました。これから1学年のみなさんがスキー教室で経験したことをどう生かしていくか、楽しみです。

さて、全校生徒のみなさんは新しい年になり、どんな目標がありますか?

みなさん、それぞれの目標を達成するために、具体的に何をしたらよいのかを自分自身で真剣に考え、行動に移すことを積み重ねてください。これが「主体的に取り組む」ということです。今年1年、社会で通用する人となる準備として、少しずつ主体的に取り組む経験を積み重ねてください。

みなさんの目標が達成される1年となることを心より願っています。



書き初め

今年も、冬休みの宿題として書き初めの課題がありました。国語科職員による審査を行いました。下記の写真は金賞受賞者の作品です。

令和5年度 金賞受賞者 1年生1名、2年生5名、3年生3名



学校保健委員会を 実施しました

保健安全委員会では、「考えよう、食べること」をテーマに学校保健委員会を開催しました。株式会社キッコーマンの方から、私たちの食卓に身近な「しょうゆ」を通して、食の文化や、栄養について、また、ただ好きな物や美味しいものを食べるのではなく、楽しい会話や挨拶・笑顔で「美味しく食べること」が大切だというお話をいただきました。

生徒が食に興味関心を持ち、自分自身の食生活を振り返り、改めて考える機会となりました。
(保健安全委員会 担当)



卒業証書授与式の日程

今年度の卒業証書授与式は、3月12日（火）に決定しました。

年度当初に配布した年間行事予定表に記載された内容から変更になりました。ご確認ください。